

平成 27 年 10 月 29 日
九州電力株式会社

大岳発電所更新計画に係る環境影響評価準備書の届出・送付等について

当社は、本日、環境影響評価法及び電気事業法に基づき、「大岳発電所更新計画 環境影響評価準備書」（以下、準備書）及びこれを要約した書類（以下、要約書）を経済産業大臣に届け出るとともに、大分県知事及び九重町長に送付いたしました。

大岳発電所（定格出力：1 万 2,500kW、大分県九重町）は、昭和 42 年、国内初の事業用地熱発電所として営業運転を開始し、地元の皆さまのご協力のもとに安定運転を続けてまいりました。

今回、発電設備の老朽化を踏まえ、今後も継続して国産エネルギーとしての地熱資源の有効活用を行うため、発電設備の更新（定格出力：1 万 4,500kW）を計画したものです。

なお、届出・送付した準備書及び要約書につきましては、環境影響評価法に基づき、縦覧するとともに、準備書説明会を開催することとしています。

以 上

（添付資料）

- 別添 1 大岳発電所更新計画の概要について
- 別添 2 大岳発電所更新計画に係る環境影響評価準備書の公告・縦覧・説明会について